

活動報告：ぶんぶんひろば

1、活動のねらいとその成果について

子ども・子育て支援研究センターの3つの活動の1つである「ぶんぶんひろば」は、3年目を迎えた。週2回の開催は非常に人気があり、演奏会の日などは人数が多くなりすぎて、人数制限をするほどであった。人数が多すぎることによる危険を考慮し、演奏会は予約制とした。この活動の目的の1つは、未就園児を持つ子育て中の家族が、孤立感を感じたり、経験の少なさからくる不安を抱えたりすることを回避するために、リラックスし、語りあえる場所を作ることである。その目的は達成できたと考えられる。今年度特筆すべきことは、水遊びへの要求が高かったことである。近年、子ども達が育つ環境は、集合住宅が多い。参加者のことばによると、自宅近辺でなかなか水遊びができる場がないとのことだった。手軽に利用でき、自然環境のある場所を提供することが、子育て支援になると感じられた。一方授業での利用も進んだ。

2、活動の内容

(1) 学生の教育への利用について

今年度の授業での利用は、学芸学部子ども学科の「保育内容（造形表現）」（前期1回）、「子どもの保健演習」（前期3回）、「総合子ども学」（後期1回）、学芸学部音楽学科の「演奏活動Ⅰ」（前期8回）、「演奏活動Ⅱ」（後期7回）、短期大学食物栄養学科の「栄養指導各論実習Ⅱ」（後期3回）保育学科「家庭支援論」（前期2回）。また、サークルの利用としては、短大保育学科の保育技術サークルの絵本の読み聞かせが、週1回のペース

で続いた。授業での利用の詳細は、「授業の実践」にまとめる。

(2) 地域の子育て家庭への支援について

これまでと同様に、火曜日と金曜日の午前10時30分から午後3時まで開設された。前期の実施回数は35回、後期の実施回数は38回であった。年間通じての一日の利用組数は23.4組であったが、音楽学科の授業「演奏活動」で行われる演奏会は好評であり、金曜日の参加者が非常に多くなった。そこで、演奏会は予約制にし、多くの家族が公平に演奏会に参加できるよう配慮した。

ただ、一家族の一日の利用時間が長くなる傾向があり、スタッフは子どもさんの健康や疲労の状態に配慮したひろばの利用を、保護者の方々に伝えるようにしている。

3年目を迎え、玩具・遊具は人気のある物が定着した。子ども達はひろばへ着くと、自分のお気に入りのコーナーへ行き、遊び込んでいる。なかでも、ダンスの衣装（スタッフや保護者から提供されたもの）は人気で、特に3歳児が自分で着て衣装を楽しんでいる姿は微笑ましいものである。

（文責：短期大学 保育学科 田頭 伸子）



ダンスの衣装を着て遊ぶ子ども

表1 平成24年度実施の回数と利用状況

月	2012/ 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2013/ 1月	2月	合計
実施回数	6	8	9	9	3	3	9	8	6	7	5	73
利用組数	65	122	289	320	91	61	226	213	130	129	104	1750
平均利用組数	10.8	15.3	32.1	35.6	30.3	20.3	25.1	26.6	21.7	18.4	20.8	23.4
利用者数	子ども	73	145	330	380	126	109	255	243	147	141	2072
	大人	65	127	295	323	98	95	228	216	131	131	1813
	合計(人)	138	272	625	703	224	204	483	459	278	272	3885